



新人 斉藤 みつや



高齢者に安心を

- 買物、通院の足を確保
●孤立させない見守り
●健康寿命を延ばす

現役世代の負担軽減

- 親の安心は、子の安心
●介護の忙しさを減らす
●税金、社会保険料の軽減

前宮城県庁職員 25年勤務
行政書士、会社顧問、防災士
東北大学大学院法学研究科修了
山形大学人文学部法学科卒業
松岩小・中学校、気仙沼高校卒業
気仙沼市(昭和40年)生まれ
気仙沼市長選挙(平成30年)12300票

騒音に配慮して選挙カーは使いません



限りなき前進 村上 たかし



- 気仙沼の関係人口創出を更に高め気仙沼のファンを拡大します
●企業の進出促進や起業の支援により雇用の選択肢拡大を図ります
●第一次産業とテクノロジーの融合によるスマート産業化を推進します

プロフィール

1971年9月15日 気仙沼生まれ 54歳
保有資格/宅建士、行政書士
趣味/映画鑑賞・スポーツ/ラグビー、野球
1984年 松岩小学校 卒業
1987年 松岩中学校 卒業
1990年 仙台第三高等学校 卒業
1995年 東洋大学 経済学部 卒業

政治には、愛あればこそよし!

This is Me!!

安全!! 安心!! 無所属!! 無農薬!!

田中 みなお 新鮮!!



独身! 献身! 渾身! 捨身! 出身! 気仙沼市!

この街で、生きてきた。だから、動く。

佐藤 けんじ



昭和42年生まれ/59歳
九条幼稚園、九条小、
泉南中、気仙沼高校卒業

- 小中学校への防犯カメラ設置
●公共施設等へのネット予約拡大
●介護サービスの向上と介護人材確保の対策
●子育て支援・学童保育の充実に取り組み
●高齢者のごみ出し支援制度を提案・実施

佐藤 としあき

未来に向かって



地域産業の振興

- 沿岸養殖の品種改良と企業誘致
●持続可能な地域産業

地域の活性化

- 賑わいと観光振興
●安心して子どもを
生み育てられる環境
●災害に強いまち

- 農林水産業の担い手育成
●一人ひとりが活躍できる
まち

プロフィール

昭和33年10月24日陸上生まれ(67歳)
気仙沼市立陸上小・中学校卒業
宮城県立津高高等学校卒業
全国漁業協同組合学校卒業
昭和52年2月陸上漁業協同組合入組
宮城県漁業協同組合気仙沼総合支所長
平成29年12月末退職(在職40年10ヶ月)
平成30年気仙沼市議会議員に初当選

市議会議員の「結ぶ力」で【地域の輪】を大きく

- ①地域自治力の強化
●市民センター化の実現
●防災をテコとした地域活動
●自治体の課題解決に向けた市主導の新たな仕組みづくり
②学校教育環境の充実
●教育環境の変化に対応する議会としての役割とその実践
●教育にかかわる協力団体の在り方の整理
●スポーツの学社連携教育の推進
③障がい者・高齢者が挑戦できるまちづくり

菅原 ゆうじ



「忘己利他」
他を利する

私は、ひとり親家庭で育ち、今はひとり親として子育て中です。困ったとき、どこに相談すればいいのかわからない。その不安を経験してきました。

制度はあるのに、届かない。この仕組みを、私は変えます。

「もう仕方ない」で終わらせない。「誰かがやる」ではなく、私がやる。

自分の生き方を選ぶ気仙沼へ。誰もが安心してつながれるまちへ。話だけで終わらせない。動かす。気仙沼を、私が動かします。

かきした 美紀

昭和53年生まれ(48歳)/南気仙沼小学校/気仙沼中学校/東陵高校卒業/3人の子どもの母/防災士

- 1.子どもと家族の声を守る
2.支え合い、挑戦できるまちへ
3.迷わない相談体制へ

子どもが、自分の言葉で伝える機会を、自分らしい場所を、一緒に考えつくりたい。

話そう。動かそう。気仙沼の未来。

「子どもたちが帰りたいまちに」
震災復興を見届けるため、記者から議員に転身して12年。ハート面の復興はほぼ完了し、議員を続けるために新たな目標を設定しました。それは、「子どもたちが帰ってきたい気仙沼」です。人口減少、少子高齢化の影響が深刻化する状況ですが、いま幸せを感じられない市民が、この目標を達成できないと考える。ふるさと納税や寄付金を活用して、市は給食費や学童保育の無償化、起業支援に加え、シニア活躍のための施策を始めようとしている。気仙沼の特色を出して成果を高められるようにしたい。さびかに約束したいの



今川 悟
51歳。面瀬地区。元三陸新報記者。面瀬中学校1回生。気仙沼西高校

議会には絶対に女性がなくちゃ。議場の色をスーツの黒からもっと明るい色に!

村上のぶこ



★村上のぶこを形作るキーワード

- ジェンダーギャップ(男女格差)がない職場と家庭で皆が幸せに
●「きょうつく(今日、行く)」と「きょうよう(今日、用)」で居場所と生き甲斐をゲット!
●外国人の笑顔が気仙沼のこれからを照らす
●色々な人がいて、色々な生き方がある私たちのまち

女性が変わり、男性が変わってきた。気仙沼は、もっとよくなる。

昔から、地図帳を開き、見知らぬ国を訪れ、知らない誰かとお出会う空想を楽しみました。議員の生活は、地図の世界と似ています。誰かとの話の中で、初めて訪れる家や場所、その人の気持ちやその場所の見えない背景に思いを馳せます。これからの道を探し、進んでいくかを考えるのが議員の仕事となります。地図を頼りに、一緒に道を歩き、迷わないよう、目的地につけるようサポートができる人間でありたいです。

- 1 「常に現場在りき」の精神でその現場に臨み、確認し、行動、実践します。
2 市民の皆さんと目線を同じにし、顔をあわせた対話を積極的に行います。

むらかみけいいち 村上佳市の基本姿勢

- 3 市民の皆さんとともに汗を流し、目標に向かって積極的に活動します。
4 市議会では、皆さんの声を反映させるため、積極的に発言し、市民生活の向上に努力してまいります。

村上佳市は約束します。

「常に市民の皆さんに寄り添った活動を実践し、市民生活向上のため努力します。」



昭和51年3月 気仙沼高等学校卒業
平成17年6月 市議会議員に初当選
現職 気仙沼市議会議員
現職 気仙沼市議会議員
現職 気仙沼市議会議員
元 気仙沼市PTA連合会長
元 気仙沼市立松岩小・中学校PTA会長
元 気仙沼市議会議員
元 気仙沼市議会議員

遠藤 ひでかず



プロフィール

1946年8月6日生まれ
昭和59年3月 津高中学校卒業
62年3月 気仙沼高等学校卒業
62年4月 本吉町役場に専従 農林畜産課、税務課を歴任
平成4年11月 結婚により津高町へ転居(佐藤から遠藤へ姓を変更)
21年9月 合併により気仙沼市役所本吉総合支所長に就任
26年4月 農産部農林課へ異動
令和2年4月 本吉総合支所建設課へ異動
3年12月 立候補のため気仙沼市民となる(専任赴任)
4年2月 自己都合により34年11ヶ月で退職
4年4月 気仙沼市議会議員に初当選

「稼げる農業」実現のための農業者の声を聞きに行きます。物価が高騰する中、なぜ農作物等の市場価格が高くないのか、どうしてよいか、農作物の再生産価格を下回ることのないよう、仕組みづくりと生活費や経営の拡大・投資に必要な所得を含んだ「適正価格」で、一次産業の皆さんの所得が上がることを考え、地域産業の発展を目指します。また、自身が障がいを持っている親として、将来安心できるような障がい者福祉の充実を目指します。

平等たる発展と未来を!

一本吉地域だけ見れない「気仙沼ケーブルテレビ」エリア拡大をー

及川 よしたか



よしたか
及川善賢
Facebook

- ◆本吉町も9月で合併し17年目をむかえ、東日本大震災より16年目になります。市が出資している「気仙沼ケーブルテレビ」さえも、現在も見えない状況です。全域で見られるよう「平等な地域発展」を。
◆「高齢者の元気」病院に行く足(交通機関)、買い物などに行く足(交通機関)「ワンコイン市民バス導入」など地域課題に取り組みます。
◆「地域の元気」震災後から市民の皆さんに元気をと、ボランティア活動の、「大洗高校マーチングバンド」を紹介し続けた。

(3) 市議会議員  
候補者

# 気仙沼市選挙公報

令和8年4月26日執行  
気仙沼市選挙管理委員会

若者から高齢者まで  
「住んでよかった」と思える街の  
実現を目指します

- 観光振興と雇用創出  
(大島モノレール亀山テラス360°)
- 三陸道気仙沼港インターのフルインター化
- 高齢者を幸齢者に  
(人生100年シニア活躍推進)
- コミュニティ形成のための自治会活動支援
- 子育て、医療・介護の充実

人、暮らし、  
地域を守る

## うすい真人

まこと



昭和四十九年 日本大学商学部卒業  
平成十二年 市議会議員当選  
平成二十一年 市議会議員長  
俣白眞倉庫 代表取締役  
現住所 気仙沼市後九家

気仙沼の歩みを止めない。次の世代へ責任のある市政を!

- ①二つの拠点が育てる持続可能な気仙沼市の創出  
市役所が移転しても、賑わいは失わせません。三日町・八日町・内湾地区は気仙沼の顔として、観光と市民が集う交流と創出の拠点へ。田中前地区は行政・医療・子育てを支える市民生活の拠点に。唐桑・本吉地区と共に、協働で「すべての市民が希望を持って暮らせるまちづくり」を進めます。
- ②若者・子育て世代が安心して暮らせる気仙沼市の実現  
仕事も、子育ても、あきらめなくていい気仙沼を創ります。地元就職・起業支援と多様な働き方を広げ、教育・保育の環境を充実させ、子どもの育ちを守ります。深刻な少子化に歯止めをかけ、増加に転じるよう支援策を強化して「ここで働き、育て、ずっと暮らし続けたいまち」を実現します。
- ③誰もが安心して暮らせる生活基盤の充実
- ④地域の強み「海と人」を活かして持続可能な経済雇用を創出
- ⑤災害に強いまちづくり  
地域の絆を守る防災力の強化

仕事も子育ても老後の安心も、あきらめなくていい気仙沼へ。

## 熊谷伸一



昭和39年9月25日生まれ  
東北大学大学院経済学専攻卒業  
43歳で初当選。現職7期目。  
第11代市長、第12代市長、  
東北大学副学長特別招聘教授  
自由民主党気仙沼市長補選当選  
学校法人あじの学園理事長  
北野社社長、会長、専任顧問

## 世界につながる 豊かな地方を!

## あきら 白幡 章



白幡章はこんな男です...  
昭和39年、気仙沼大島長崎に生まれる。(赤羽根)  
北かつで漁業に携わり、ヨネキ商店で農業に接してきました。  
この経験を活かし、未来に架橋していきます。

- ◎安心して老後を楽しく暮らす
- ◎豊かな海を甦らせる
- ◎賑わいのある街づくり
- ◎新たな産業育成
- ◎人生100年プランの推進

# 「たくさんの 思いをつなぐ その一票」

第18回 明るい選挙啓発標語作品募集 最優秀賞

4月26日(日)は、  
市長選挙及び市議会議員  
一般選挙の投票日です。

# 午前7時から午後6時まで

◎投票日当日、投票できないときは、期日前投票をしましょう。

(4月25日(土)まで)

◎投票所の入場券がなくても、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。